タイトルは、校歌の２番の一節　♪たまがわの風にのせて伝えよう♪　から引用しました。

たまがわの風

No.34

平成28年４月17日　校長室発

平成28年度がスタートしました。教職員も19人が異動・退職し、18人が新たに仲間に加わりました。今年度は地域コミュニティ「たまがわランド」が3年目を迎え、本格実施の年になります。生徒・教員たちが地域の方々と触れ合うため、いろいろな企画を考えています。できるだけ早くポスター・チラシ・ホームページなどで日程等をお知らせしていきます。どうぞよろしくお願いします。

＜第11回入学式を挙行しました。＞

４月７日、前日まで満開だった桜の美しさをねたむかのような無粋な雨の中、11期生が入学してきました。新たな学校生活への期待に胸を膨らませ、やや大きめの制服に身を包んだ新入生（**本校生64人、共生推進教室生6人**）に私が入学を許可しました。

慣れないことも多いでしょうが、新しい友、新しい先生との出会いを大切に、新たな学校生活に前向きに取組んでほしいと思います。以下は私の式辞の抜粋です。

皆さんに伝えたいことが2つあります。

1つ目は、校歌のことです。開校当初は校歌がなく、3学年が揃ったとき、やっと歌詞を考えようということになりました。当時の国語科の先生が、生徒・保護者から公募して「歌詞に使える言葉」や「いいなと思う文章」を考えてもらいました。たくさんの提案があり、それらを国語の授業の中で生徒たちと先生があれこれ意見を言い合って、骨格が決まっていきました。

まずは「テーマ」です。1番は「**友情**」、2番は「**学び**」、3番は「**進路・未来**」となりました。そのテーマにあわせて生徒や保護者の言葉を組み合わせていき、1番は「友情を育みながら笑顔溢れる学校生活を送る」、2番は「仲間と一緒に強くたくましく成長していく」、3番は「心身ともに成長し、それぞれの進路に向かって歩み出す」というように、歌詞が出来あがったのです。明るく、やわらかい感じがするのは、当時の生徒・保護者・教員の願いがぎっしり詰まっているからです。本校はそんな学校なのです。これからもその伝統を皆さんが受け継いでいってください。

2つ目は、いろいろなことにチャレンジしてほしいということです。皆さんに江戸時代の俳人、小林一茶の俳句を紹介したいと思います。

「そよげそよげ　そよげ若竹　今のうち」

この句の意味は、「若いうちに雨風に打たれて、将来に向けしっかりとした根を張ることが大切なんだ。」ということです。皆さんは、まさに「若竹」です。しっかり「そよいで」ください。人生で最も成長する、素晴らしい可能性に満ちた時に、一生懸命勉強に励み、友や先生と語り合い、部活動や生徒会活動など、さまざまなことにチャレンジして、悔いの残らない学校生活を送ってくれることを願っています。

＜　離任式＞

昨年度末で本校から転勤した5人の先生たちが出席してくれました。それぞれたまがわでの思い出と生徒たちへの期待の言葉を伝えてくれました。

１年生は面識がないのでピンとこなかったかもしれませんが、２・３年生はしんみり聞いていました。5人の先生のうち３人は**とりかい高等支援学校**への異動です。転勤といっても大阪府内のことですからいつかどこかで顔を合わせることもあるでしょう。その時はどちらからでも声を掛け合ってほしいと思います。先生方、どうぞ新天地で頑張ってください。

最後は生徒たちが花道を作って、先生たちを送り出しました。